

<研究名称>

A病院 SCU 病棟における脳血管障害患者のせん妄を発症する要因の検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 SCU 病棟

職 名 看護師長

氏 名 川原 裕子

実施担当者 所 属 SCU 病棟

職 名 看護師

氏 名 北川 龍一

竹澤 祐美

田中 さやか

村上 笑香

伊藤 由紀恵

所 属 7 みなみ病棟

職 名 看護師

氏 名 田辺 亜鐘

<研究期間>

2021年3月31日～2021年5月31日

<診療・研究の目的>

A病院 SCU 病棟における脳血管障害患者のせん妄発症に関係する要因を明らかにする。

<実施内容（方法）>

1. 対象

2020年2月～2021年1月末日までの1年間に入院した、入院時 JCS0～3 の脳血管疾患患者
666名

2. 調査方法

対象患者に対し、過去の診療録から日本語版 ICDS-C を用いてせん妄の評価を実施。せん妄発

症スコア 4 点以上をせん妄発症群、4 点以下をせん妄非発症群とする。さらにそれぞれの患者に対し

Lipowski のせん妄のリスク因子の分類を参考に独自に作成したせん妄のリスク因子 14 項目【疾患名、JCS、性別、年齢、入院時間、入院前の睡眠導入剤の使用の有無、聴覚障害の有無、視覚障害の有無、飲酒歴、認知症の既往、せん妄の既往、体内挿入物及び装着物（末梢静脈カテーテル・中心静脈カテーテル・尿道留置カテーテル・各種ドレナージカテーテル・各種モニターのライン）の本数・不眠の有無・安全用具（体動センサー・離床センサー・四肢及び体幹の抑制具）の使用状況】との関連性を調査する。

3. 分析方法

せん妄発症群と非発症群の 2 群間において、せん妄のリスク因子 14 項目のうち質的項目は χ^2 乗検定を実施。量的項目はシャピローウイルク検定を実施し、その結果正規分布に従うものに対応の無い t 検定、従わないものにマンホイットニーの U 検定を実施する。また、せん妄のリスク因子 14 項目を独立変数とし、せん妄発症群と非発症群を従属変数とした多重ロジスティック回帰分析を実施する。有意水準は 5%未満とする。

<危険性（副作用）等>

調査対象者の過去のカルテから調査するため、個人情報漏洩の危険性がある。

<倫理上問題になると考えられる事項>

過去の看護記録からデータを収集するため、個人情報保護されない可能性がある。

対象の個別データ記載用紙には個人が特定される情報は記入せず、通し番号で記載する。データは研究目的以外に使用せず、匿名性と機密性を保証する。研究終了後は速やかに情報を処理する。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院

SCU 病棟 川原 裕子

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648